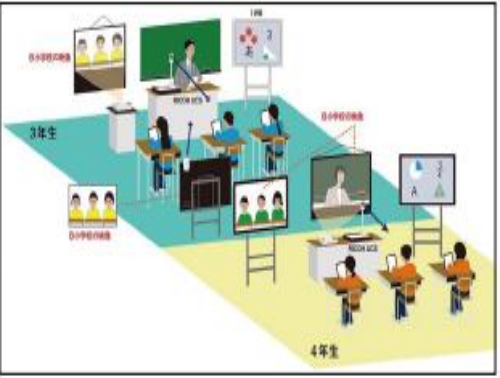


遠隔教育（徳之島モデル）

技術/サービス活用事例概要

実現する地域社会のイメージ

- ・離島においては、少子化や過疎化が進行する人口減少社会の中、現行の学校規模を維持することが困難な学校が増加することが予測され、このような実情に対応した活力ある学校教育を推進することが必要である。
- ・複式・少人数の学級では、一人一人の児童生徒に対してきめ細かい指導が行いやすいなどの利点がある一方、様々な教育的な課題が存在する。このような課題に対して遠隔合同授業「徳之島モデル」を活用して、離れた学校の学級同士をつなぎ、合同で授業を行うことによって、教育の質を維持向上させることが可能である。



徳之島型モデル遠隔合同授業のステップ

ステップ レベル	遠隔授業 タイプ	教科等	学習内容等
ステップ5	複式－複式 複式双方向型	国語社会 算数	多様な意見や考えの交 流児童同士の交流
ステップ4	複式だが一方のみ 複式－単学級	国語社会 算数	意見や考えの交流 話し合いや議論
ステップ3	多地点	外国語 社会 総合	コミュニケーション力の育成 ゲストティーチャーの話を聞く 教育機関・県外海外の学校
ステップ2	単学級－単学級	国語算数 道徳 外国語	意見や考えの交流 話し合いや議論 コミュニケーション力の育成
ステップ1	単学級－単学級	国語 生活 音楽	作品発表 音読発表 音楽発表


導入技術/サービス情報

サービス分野（大）	教育
サービス分野（小）	遠隔教育
サービス購入者	教育委員会及び小学校
サービスの概要	遠隔合同授業を実施することにより極小規模校の子どもの教育効果の拡大と学校の活性化
サービス利用（受益）者	離島の複式・小規模校（教員・児童）

導入サービスに 期待する効果	・複式・少人数学級の教育のメリットの拡大・デメリットの縮小 ・学外の専門家や離れた学校との交流の増加
導入サービスの 特性・優位性	学校統廃合を進めることのできない地域に対して、遠隔合同授業を導入することで、学校力を向上させる新たな可能性を広げる。
その他 (補足事項)	今後へ向けて ・児童への適切な声かけと個に応じた指導の充実 ・遠隔合同授業外でのきめ細かな指導 ・機器操作スキル向上のために研修の更なる充実

遠隔教育（徳之島モデル）

技術/サービス導入結果

利用状況	○小規模五校の年間の遠隔合同授業数 →遠隔合同授業 年間50～200時間程度 (一単位時間45分)
導入効果	<ul style="list-style-type: none">○ 遠隔合同授業における意欲の向上○ 友達と話し合うことの意義理解や積極的な対話の達成感○ 学習を振り返りながら課題を解決していこうとする力の高まり○ I C T 機器の活用 → 学習意欲の向上○ 相手を意識した聞き方や話し方、双方向の話し合い → 自分の考えの広がり、深まり○ 共通点や相違点を踏まえて相手に説明○ 他人の考えに共感、考えのよさや不十分さの気付き → 複数の視点から考えを吟味する 

大規模

教育

《参考》
活用事例

自治体・利用者 からの声

遠隔合同授業を行うことのメリット

- ① 教師と児童の対面する時間の増加
- ② 多様な考えに触れる機会の増加
- ③ 発表する喜びや認められた時の達成感
- ④ 教師の資質向上
(専門性の活用・教材研究・I C T 機器スキル)

遠隔合同授業「複式双方向型」の様子



問い合わせ先

団体名	徳之島町教育委員会学校教育課
参考URL	
問い合わせ先	0997-82-1308 gakkoukyouiku@tokunoshima-town.org